

# レポート解説 基礎数学B (旧課程：数学序論2, 数学序論G)

担当 石川 剛郎 (いしかわ ごうお) (西暦2008年度後期)

**No. 4** (西暦2008年10月21日(火) 出題, 10月27日(月) 午後1時締めきり)

## 4-1

$A, B, C$  を集合とし,  $f: A \rightarrow B, g: B \rightarrow C$  を写像とすると, 次の間に答えよ:

(4-1-1)  $f$  と  $g$  が共に単射ならば  $g \circ f: A \rightarrow C$  も単射であることを示せ.

(4-1-2)  $f$  と  $g$  が共に全射ならば  $g \circ f: A \rightarrow C$  も全射であることを示せ.

(4-1-3)  $g \circ f: A \rightarrow C$  が単射ならば,  $f$  が単射であることを示せ.

(4-1-4)  $g \circ f: A \rightarrow C$  が全射ならば,  $g$  が全射であることを示せ.

## 4-2

$A, B$  を集合とし,  $f: A \rightarrow B$  が与えられたとき,  $A$  における関係  $\sim$  を

$a, b \in A$  について,  $a \sim b \stackrel{\text{def}}{\iff} f(a) = f(b)$  で定める. このとき, 次の間に答えよ:

(4-2-1)  $\sim$  が同値関係であることを確かめよ.

(4-2-2) 商集合  $A/\sim$  から像  $f(A)$  への全単射を  $f$  を用いて与え, それが全単射であることを説明せよ.

## 4-3

$n$  以下の自然数全体の集合  $Z_n = \{1, 2, 3, \dots, n\}$  のべき集合  $\mathcal{P}(Z_n)$  の濃度 (個数)  $|\mathcal{P}(Z_n)| = \#\mathcal{P}(Z_n)$  を求め, 説明せよ.

## 4-4

$\mathbf{N} = \{1, 2, 3, \dots\}$  を自然数の全体の集合とする. このとき,  $\mathbf{N}$  から  $\mathbf{N} \times \mathbf{N}$  への全単射を具体的に与えて説明せよ.

---

**問題 4-1** は皆さんよくできていたので, 解説は省略します.

**問題 4-2-1** もできていましたが, **問題 4-2-2** は, なかなか説明しづらい問題だったようでした.

**問題 4-2-2 の解答例:**

$a \in A$  の同値類を  $[a]$  で表すことにする.  $[a] \in A/\sim$  である. [もちろん, 記号  $R(a)$  を使っても同じである.]

さて, 写像  $\tilde{f}: A/\sim \rightarrow f(A)$  を, 任意の  $x \in A/\sim$  に  $x = [a]$  となる  $a \in A$  (つまり,  $x$  の代表元) を1つ選び,  $\tilde{f}(x) = f(a)$  で定義する. [ $x$  は  $A/\sim$  の要素だから,  $A$  の同値関係  $\sim$  に関する或る同値類であることに注意する.]

まず,  $\tilde{f}$  が写像になっていることを確かめる. [任意に  $x \in A/\sim$  を与えたとき,  $\tilde{f}(x)$  が1つに定まっていること, いわゆる「well-defined」であることを示す.]

仮に  $x = [b], b \in A$  とも表されたとする. このとき,  $[a] = [b]$  であるから,  $a \sim b$  が成り立つ. つまり,  $f(a) = f(b)$  が成り立つ. したがって,  $\tilde{f}(x)$  は代表元のとりかたに依らずに1つに定まる. したがって,  $\tilde{f}$  は写像である.

$\tilde{f}$  が単射であること:  $x, x' \in A/\sim$  について,  $\tilde{f}(x) = \tilde{f}(x')$  と仮定する. いま,  $a, a' \in A$  があって  $x = [a], x' = [a']$  となっているが, 仮定から  $f(a) = f(a')$  である.  $\sim$  の定義から  $a \sim a'$  である. したがって,  $x = x'$  である. よって,  $\tilde{f}$  は単射である.

$\tilde{f}$  が全射であること: 任意に  $b \in f(A)$  をとる. ある  $a \in A$  が存在して,  $b = f(a)$  である. このとき,  $\tilde{f}$  の定義から  $\tilde{f}([a]) = f(a) = b$  である. したがって,  $\tilde{f}$  は全射である.

以上により,  $\tilde{f}: A/\sim \rightarrow f(A)$  は全単射であることが確かめられた.

**問題 4-3** も皆さんだいたいできていたので, 解説は省略します.

**問題 4-4** は説明の仕方がいろいろあると思いますが, 図を援用したり, 式を使ったり, 皆さんよく工夫していました. わからなかったら, たとえば, 教科書の pp. 36-37 に書いてあることを参考にしてください.

以上.